

第 2 1 回 『田んぼの糸張り』

と き 2012年8月18日(土) 9:30 - 13:00頃

ところ 谷っ戸ん田

天 気 曇り(サウナ状態)のち雨のち晴れ

参加者 石田・秀、霧生、久保、松本純、藤平・夕夏、佐々木 計名8名(子ども2人含む)

【午前】9:30~12:15

- ・ 小屋の前にてテツさんと今日の打ち合わせをする。
- ・ 大豆に関しては、なつてからの相談では、どうにもならないなどのこと。
- ・ 必要最低限の農薬も考えないと、作っても収穫できないのでは、もともこうもないと。
- ・ 田んぼの水やりは1日おきにしている。この水遣りを『花かけ水』だと教えてくれた。
- ・ 2週間もすればもち米の穂も伸びるだろう。そのあとはお天道様にお任せするとのことでした。

- ・ ポールを60本、糸を用意。雷と雲行きを気にしながらの作業だった。
- ・ 磯さんの図を久保さんがメモしてきてくれたので、その図をみながらやった。
- ・ スムーズにできた。横の間隔が広すぎと思い、最後にこの字にして仕上げた。
- ・ 子供たちは雷さまが恐くないようで、虫取りに夢中でした。

- ・ 作業終了後に雨が降り始めた。傘をさして、畑を見に行く。
- ・ ズッキーニ1本とオクラ2本とモロヘイヤを収穫。枝豆の実入りが今一つだったのでやめた。
- ・ 問題の大豆の状態にため息をつきながら、そろそろ冬野菜の作付を考えて畑を片づけたらどうだろうという提案がでた。
- ・ ヒデくんから「大豆を抜くなら虫を振り落して足で踏みつぶそう」という意見もでたが、もう、手遅れという感じがした。
- ・ 田んぼにもどり、お開きとし、お昼を食べて帰った。

- ・ 次回8月25日(土)テツさんのお手伝いはなし。田んぼも稗がでていたら取る。畑の話し合いをし、作業をする。

(記録 チャリママ佐々木)